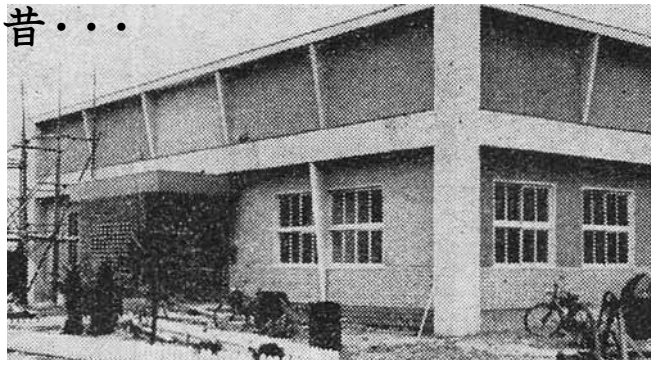


## おぼえていますか？ 森前公園の昔・・・



▲「貝の博物館」オープン時のようす



▲「観光センター」（貝の博物館）建設風景  
[高浜町広報 昭和34年]



▲南部第2ふれあいプラザで展示された貝

### 「貝の博物館」

現在の森前公園・かわら美術館の地は、およそ60年前は「衣浦公園」であった。そして、昭和34年4月に公園内に「観光センター」が建設され、展示施設として「貝の博物館」が誕生した。

三河湾の魚介・海藻類を陳列することが計画され、篤志家から珍しい貝類のコレクションが寄贈されるなど順調な幕開けだったようだ。しかし、オープンから5か月後の「伊勢湾台風」により、不幸にも陳列品はすべて流失してしまった。翌年12月の「高浜町広報」では、再び標本類の寄贈を受けて再開したという記事が掲載されており、多くの支援を得ていたことがうかがえる。昭和44年には「衣浦公園」内に「郷土史料館」ができた。おりしも、現在の県立高等技術専門学校（碧海町）のあたりの造成の際、土砂から土器片や貝類の採集が行われて展示資料としておさまった。その後昭和54年に現在の地に完成した市立図書館・郷土資料館にすべての資料が移動、同時に、跡地には、子どもへの交通指導の場として交通児童遊園が作られた。当時小学生だった方からは「ゴーカートに乗せてもらえたから、子どもたちには絶大な人気で、吉浜から自転車で遊びに行ったよ。」と聞いた。

昨年、南部第2ふれあいプラザで、この「貝の博物館」を懐かしむ企画として貝や海藻の資料が展示された。発案した南部まちづくり協議会の神谷義國さん（二池町）は「「貝の博物館」を思い出して懐かしんでもらいたいという期待とともに、長く保管されている珍しい貝殻にスポットをあててみたかった。」と語ってくれた。

今では鬼みちまつりなどのイベント時に多くの人で賑わう森前公園。「貝の博物館」跡地にふさわしく、瓦製の波模様や海の生き物のレリーフで彩られている。

## “撮っておき” の たかはま

### 【第82回】

「ひと」「もの」「文化」などなど、  
有形・無形を問わず、  
高浜市の日常の暮らしの中にある  
とっておきの「お宝」を紹介します。

### 高浜市でも「ふるさと応援寄附金」PR中です！

対象は高浜市以外にお住まいの方ですが、「高浜市を応援したい!!」という想いを「ふるさと納税」を通じてお寄せいただき、子どもの健全育成、高齢者や障がい者の福祉の増進など、ご指定の用途に活用させていただいています。住まいは市外だけれど高浜市が“心のふるさと”という方におすすめください。

問合せ先 圏総合政策グループ ☎52-1111（内線339）



## LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語は15ページ

早期配布にご協力ください。